

日赤なごや

Vol. 82

Autumn
2023



● **Medical Frontier**
泌尿器科副部長
平林 裕樹 医師

● **Professional Style**
摂食・嚥下障害看護認定看護師
高橋 操 係長

● **健康まめ知識**
お酒で腎臓が悪化!?～尿酸(痛風)の話

● **登録医療機関紹介**
かかりつけ医をもちましょう

お知らせ

- 入退院支援について
- 医療社会事業係・がん相談支援センターについて

ふれあい
通信

- 4年分の想いを込めて
なごやかコンサートを開催しました
- いざという時の災害救護に備えて…
救護員養成研修(基礎研修)を開催しました

Medical Frontier

メディカル フロンティア

最前線医療レポート Vol.73



泌尿科副部長
日本専門医機構泌尿科専門医
日本泌尿器科学会泌尿器科指導医
日本がん治療認定医機構がん治療認定医
日本泌尿器科学会 日本泌尿器内視鏡・
ロボティクス学会泌尿器腹腔鏡技術認定医
日本泌尿器科学会 日本泌尿器内視鏡・
ロボティクス学会泌尿器ロボット支援手術プロクター認定医
ひらばやし ひろ き
平林 裕樹 医師



患者さん一人ひとりに合った医療を実践。

先進技術が選択肢を広げます。

尿路結石治療は最新の内視鏡技術で安全かつ確実に。

少し前まで結石の治療といえば体外衝撃波結石粉碎術が主流でした。体外から衝撃波を結石に当て粉碎する手術です。負担が軽い治療ですが、砕けた結石が流れずにつまったり、腎臓や周囲臓器を傷めてしまったりすることがあるなど、課題も多くありました。

近年内視鏡の性能が向上し、尿道から細い内視鏡を挿入して結石を砕く手術が主流となっています。特に軟らかい尿管鏡(軟性尿管鏡)の細径化、高画質化、レーザーなどの進歩によって、安全かつ確実な砕石が可能となりました。従来の内視鏡では届かなかった腎臓の奥の方の結石も、最新の内視鏡を用いれば無理なく治療することが可能です。また腎臓を埋め尽くす大きな腎結石でも、この尿道からの内視鏡手術と、背中から腎臓に小さな穴をあけて内視鏡を挿入して行う手術を同時に行うことで、効率よく取り除くことができるようになりました。

泌尿器科の手術では、ロボット手術が有力な治療選択肢です。

ロボット支援手術とは、高解像度の3次元拡大視野で、精緻な手術動作を行うことができる手術支援ロボットを用いた最先端の手術です。泌尿器科は、扱う臓器は身体の深いところであって手術は狭く限られたスペースで行う必要があるため、ロボットのメリットを最大限に活かすことができる診療科と言えます。

日本における手術支援ロボット手術は、前立腺がんが2012年に保険承認されてから急速に普及し、今では多くの手術を行えるようになりました。手術支援ロボット「ダ・ヴィンチ」が当院に導入されたのは2018年です。前立腺がんや腎臓がんから始まり、今では様々な泌尿器疾患の患者さんがロボット支援手術を受けられています。この春待望の2台目が導入され、より多くの患者さんを受け入れられるようになっています。



ダ・ヴィンチを使用した手術の様子

患者さん一人ひとりに合った治療を提案します。

例えばがん治療では、同じ種類のがんでみてもひろがり(寛)は患者さん毎に異なります。当然がんの状態をしっかり評価することが重要であることは言うまでもありません。しかしそれだけでは不十分で、患者さんの身体機能や併存疾患、認知機能、さらにはその患者さんを支える家庭などの社会的背景を一人ひとり評価することが治療を決める上で非常に大切だと考えています。その評価から、どのような治療選択肢が挙げられ、それぞれどのようなメリットとリスクがあるのかを患者さん毎に判断して最適な治療を選択肢していきます。

先進的な医療技術は治療選択肢の

幅を確実に広げています。しかし最新が最善とも限らず、患者さんによっては従来の治療が適していることもあります。大切なのは、それぞれの治療の特性を熟知し、患者さんに合わせて最適な治療を行っていくことだと考えています。

当院の強みは、多職種連携により高度な治療が安全に行えることです。

がん薬物療法の領域でも個別化医療が重要になってきています。例えば、患者さんの遺伝子を調べた結果をもとに最適な治療を選択肢できるようになっています。また、免疫チェックポイント阻害薬をはじめとする新しいタイプの治療薬が続々と開発され治療選択肢が急速に広がっています。高度化した薬物療法を安全に行うためには、多職種で患者さんを支えることが重要です。他診療科・他職種と緊密に連携し、患者さんが安心して治療を受けられるよう、これからも取り組んでいきたいと考えています。



表紙のひと

西棟10階B病棟
摂食・嚥下障害看護
認定看護師
たかはし みさお
高橋 操 係長



患者さんの「食べたい」思いを大切に。
味わう喜びを届けるために様々な工夫をしています。

ああ、ゼリーって こんなに美味しかったんだ!

長く絶食中だった患者さんが久しぶりに訓練食^{※1}を口にされた時、つぶやいた言葉です。ふだん何気なく口にする食べ物や飲み物は患者さんにとって生きる糧であり、食べられる喜びや感謝の心を忘れてはならないと改めて実感した出来事でした。

摂食・嚥下障害看護認定看護師は、科学的な根拠と基準をもとに患者さんの「食べる・飲み込む機能」を見定めて、適切かつ安全な看護計画を立て、実践・指導する看護師です。

例えば、脳梗塞の患者さんに対しては、まずカルテを吟味して大元の病気を把握することから始めます。脳梗塞は、血管の一部が詰まって細胞にダメージを与える病気です。詰まった位置や詰まり方により体のどこにどんな症状がでるかが変わるため、しっかり考察した上で、患者さんの摂食・嚥下障害の度合いを見いきます。機能の維持向上のためにどのようにアプローチしていくか。口腔ケアや食事の形態、介助の方法、訓練の内容などを検討し、リスク管理を含めた情報を

スタッフ間で共有しながら看護にあたっていきます。

入院初期から、舌や唇、頬などを動かす リハビリを行います。

ぐくんと何かを飲み込む時に使う器官は喉だけではありません。頬や肩、首など顔全体の筋肉や神経を使っています。食べられない状態が続くとその筋力はどんどん衰えます。唾液の分泌も少なくなるため、口の中の雑菌なども増殖し、誤嚥性肺炎^{※2}などが起こりやすくなります。

口腔ケアで清潔を保ち爽快感を届けるとともに、粘膜のマッサージなども行って唾液腺を刺激し、乾燥を防ぎます。また患者さんの病態や状態に合わせて関節訓練や嚥下体操などのリハビリも行います。すぐに結果が出るわけではありませんが少しずつ、継続的に取り組んでいます。

食欲は治療のモチベーション。 「心を満たす」看護に努めます。

患者さんの味覚や嗅覚の機能を眠らせない工夫も必要です。

「食べたい」気持ちは「生きる力」に変え

ることができるため、主治医に相談し、ご家族の協力も得ながら「味わう喜び」を少しでも実感できるような取り組みをしています。

例えば、水を飲むことさえ難しい患者さんには、ジュースやコーヒーなどを含ませたスポンジを口にあって、味や香りを楽しんでいただけるようにしています。さらに、少量の水を口に含んでもむせずに飲み込むことが出来る患者さんには、訓練食で段階的に飲み込む力を養っていきます。訓練用のゼリーには、ぶどう味やみかん味、コーヒー味などのバリエーションがあり、ペーストや粒入り、ムースなど、種類も豊富です。

摂食・嚥下障害は、食べたくても食べられないというストレスを抱えてしまうだけでなく、低栄養や脱水、誤嚥性肺炎、窒息など生命を脅かす危険と隣り合わせの毎日です。認定看護師として適切な看護を指導してだけでなく、摂食・嚥下障害ケアチームの一員として専門性を磨き、より良い医療を患者さんにお届けしていきたいと考えています。

※1 嚥下訓練用のゆるいゼリー

※2 食べ物や唾液が気管に入り、口腔内の細菌が肺に感染して起こす炎症

健康 まめ知識

第5回

お酒で腎臓が悪化!?～尿酸(痛風)の話

甘い物を控えめにし、食後に適度に散歩して、と主治医の指導を肝に銘じて継続しているAさん。春に受けた定期的な血液検査の血糖、HbA1c、LDLコレステロール値は良好。血圧も良好です。でも、9月の検査で思わぬことを指摘されました。尿酸値が高く、腎機能も少し悪くなっていますよ、ビール飲み過ぎた?と。ビール飲み過ぎて、普通肝臓が悪くなるのでは?尿酸って何もの?

尿酸の影響は足が腫れて痛くなる痛風が有名ですが、実は痛風腎といって、腎臓にも影響があります。また、尿路結石や高血圧症、脳心血管病のリスクが高くなることがわかっています。尿酸はプリン体という成分が分解されるときに作られるため、ビールなどのアルコール、干物、肉・肝類といったプリン体が多く含まれる飲食物を控えることと、全体に過食を控え肥満を解消する努力をすること、そして尿酸の排泄促進のため水

分を多く摂ること、が大切です。特に、アルコールには利尿作用があるため、飲酒後にはいつも以上に水分補給が必要なのです。

この夏の猛暑でビールが美味しく、つまみの干物片手に少し飲み過ぎたと心当たりがあったAさん。運動で汗をかいたら水分、飲酒後にも水分ですね。





入退院支援について

2015年7月から開設された患者相談支援センターは、2023年4月に「相談支援センター1階」として正面玄関横に14室の面談室を設けてリニューアルオープンいたしました。「相談支援センター1階」には、医療社会事業課・地域医療連携課・看護部入退院支援センターが所属し、連携して各種相談業務を運営しています。

「入院支援」は、『入院前から退院まで患者を全人的に捉え、安心・安全な療養環境を提供するための患者支援をマネジメントする』ことを目標にしています。具体的な内容は、入院予約・書類や医療費の説明・入院物品、

クリニカルパスのスケジュール説明・入院前の生活、社会的情報や不安の把握・内服薬の確認・中止薬の説明・口腔内の合併症スクリーニング・栄養指導等のリスク評価・介入です。これらの支援は、医師、看護師、薬剤師、歯科衛生士、管理栄養士、医療ソーシャルワーカー、医療事務、各外来、手術室等、多職種・多部門が連携しています。

患者さんやご家族の方が安心・安全に入院治療を受け、入院前の生活環境に戻れるような支援に取り組んでいきますので、お気軽にご利用ください。

医療社会事業係・がん相談支援センターについて

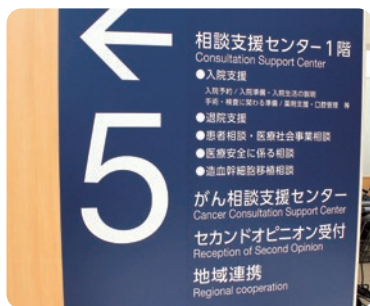
病気になったり怪我をされたりすると、傷病に対する不安の他に、医療費は、仕事は、生活は、介護は…などなど様々な不安・心配が生じることがあります。これら傷病によって起こる様々な不安・心配・問題の解決・軽減のために、「相談支援センター1階」では、医療社会事業係・がん相談支援センターとして、医療ソーシャルワーカー・看護師である専門の相談員を配置し、それぞれの専門性を活かし支援を行っています。

医療社会事業係では社会福祉の立場から、経済的な困りごとや社会保障制度の利用、治療中・治療後の

学業や仕事、在宅療養の環境整備、セカンドオピニオン等の相談対応を行っています。がん相談支援センターではこれに加え、がんの病態・治療・診療・予防・早期発見等に関する一般的な情報の提供や、アピアランスケア、ゲノム医療等の相談にも対応しています。

センター内は温かみのある雰囲気、個別の面談室を設置、プライバシーに配慮し、相談しやすい環境になっています。何かご心配なこと、困りごとがございましたらお気軽にご相談ください。

看護副部長兼入退院支援センター／病床管理看護師長 作間 千夏
医療社会事業部医療社会事業課長 榎本 伸一
入退院支援センター／病床管理係長 杉浦 朋子



▲▼相談支援センター1階入り口



▲相談受付



▲入院支援ブース



▲入院予約の方



▲面談室待合



▲面談室

8/7

4年分の想いを込めて なごやかコンサートを開催しました

TOPICS
1

8月7日(月)に西棟1階ホスピタルモール横にて「なごやかコンサート」を開催しました。「闘病中の子どもたちに、生の音楽に触れてもらいたい」という、フルート・オカリナ奏者の加藤由記さんのご厚意ではじめられたこのコンサートは、その後広く患者さんや地域の方々にもお聞きいただける形へと発展し、新型コロナウイルスの影響で一時中断しましたが、4年ぶりに開催することができました。

今年は、加藤さんのほか、豊かな色彩を感じさせる演奏で活躍中のジャズピアニスト瀧川紀之さん、数多くのコンサートホールでの演奏活動や教会でのコンサート出演など幅広く活躍されているソプラノ歌手の松谷友香さんをお迎えし、アンコールを含めた全10曲を披露していただきました。

優しい音色となごやかな雰囲気のもと、酷暑を忘れさせるような癒しのひとときとなりました。



8/29-30

いざという時の災害救護に備えて… 救護員養成研修(基礎研修)を開催しました

TOPICS
2

当院では毎年、職員を対象として「救護員養成研修(基礎研修)」を開催しています。

この研修は災害時に円滑な救護活動ができるよう救護員を確保・養成するために救護に関する知識・技術を習得させるとともに、災害拠点病院としての救護体制の推進を図ることを目的として開催しています。

今年度は日本赤十字社愛知県支部、愛知県赤十字血液センター、日本赤十字豊田看護大学からの受講者も加え、合計41名が受講しました。

研修は講義と実技の2日間にわたり行われ、初日では「なぜ日本赤十字社が救護活動を行うのか」や「CSCA・TTT」、「救護班の活動の実際」を講師の担当職員が自身の経験を交えながら講義を行いました。さらに「広域災害救急医療情報システム(EMIS)」「業務用無線・衛星携帯電話」「医療救護セット」等、災害救護の現場での情報収集機器や治療に使用する物品の説明を行いました。

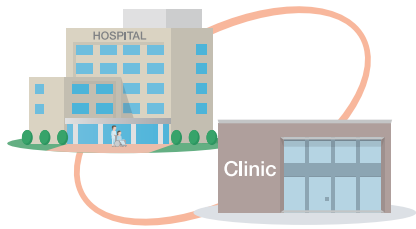
2日目には、講義で学んだ業務用無線機や衛星携帯電話の実習、救急車のストレッチャー操作などの実習を行いました。

近年、災害時の情報共有が重要視される中、「広域災害救急医療情報システム(EMIS)」についても実際に当院から救護班が出勤すると想定し、入力訓練を行いました。

また、トリアージについても実習を行い、START法によるトリアージの実技と併せてトリアージタグの記入方法を学びました。実習では職員が傷病者役となり、受講者が怪我の具合や痛みの度合などをヒアリングする体験をするなど、より実践的な実習を行っています。

このように2日間の研修を修了した受講者は、日本赤十字社の救護員として正式に登録されます。さらに実践的な研修として「救護班要員養成研修」や「全国赤十字救護班研修」があり、また「こころのケア研修」など救護員としての様々な知識を習得する研修もあります。これらの研修を順次受講することにより、災害が発生した際には救護員として活動できるよう普段から備えています。





登録医療機関 紹介

かかりつけ医 をもちましょう

むらかみ ファミリークリニック



住 所

〒490-1145
海部郡大治町大字中島字中田85

電話番号 052-445-1222 院長 村上 賢治

診療科目 内科、消化器内科、内視鏡内科、小児科

専門分野 内科、消化器内科、内視鏡内科、小児科

休 診 日 木曜日午後・土曜日午後、日曜日・祝日

診療時間 9:00~12:00、16:00~19:00

当院は小さなお子さんの発熱、咳、下痢症状や大人の方の生活習慣病、胃・大腸カメラによるがんの早期発見など幅広く診療しております。また、「最近ちょっと気になる症状がある…、なんとなく調子が悪い…」というときでも、お気軽にご相談ください。家族みんなが気軽に相談できる「家族みんなの健康相談医」として、常に、患者さんにとって最良の医療は何かを考え、地域の皆さんに安心して信頼できる医療を提供できるよう、スタッフ一丸となって努めております。

ホームページ



メディマップ
掲載ページ



上記は2023年9月1日時点の情報です。

医療法人テルミナ クリニックテルミナ



住 所

〒453-0044 名古屋市中村区鳥居通4-13-1

電話番号 [外来診療部門]052-486-1140
[訪問診療部門]052-486-7830

院 長 神谷 春雄

診療科目 循環器内科、神経内科、泌尿器科、内分泌内科、呼吸器内科、訪問診療

専門分野 循環器内科、神経内科、泌尿器科、内分泌内科、呼吸器内科、訪問診療

休 診 日 日曜日・祝日 診療時間 10:00~13:00、14:30~17:30

当院は外来診療部門と訪問診療部門の2部門の診療を行っており、外来診療と訪問診療の移行がスムーズに行えます。また、日赤名古屋第一病院をはじめ様々な病院での豊富な経験を持ちます総勢20名を超える専門医が幅広い疾患に対応して診察させていただきます。訪問診療部門では、患者さんがご自宅で快適に過ごしながら、良質な医療を受けていただけるように力を入れて取り組んでおりますので、いつでもご連絡ください。

ホームページ



メディマップ
掲載ページ



上記は2023年9月1日時点の情報です。

城田 クリニック



住 所

〒453-0037
名古屋市中村区高道町5-3-20

電話番号 052-461-3770 院長 城田 高

診療科目 内科、消化器内科、外科

専門分野 内科、消化器内科、外科

休 診 日 水曜日午後・土曜日午後、日曜日・祝日

診療時間 9:00~12:30、15:30~19:00

当院は地域のかかりつけ医として、いつものお薬が必要な病気の管理だけでなく、突然の体調不良や長引く不調などの診断もいたします。また、病気をただ「治療」するだけでなく、皆さんの「自然治癒力の向上」や「疾患病の予防」を考えた診療を目指しております。「調子が悪いけれど、何科に行ったらいいかわからない」「病院に行くほどではないけれど、気になる症状がある」という場合にも、どうぞお気軽にご相談ください。

ホームページ



メディマップ
掲載ページ



上記は2023年9月1日時点の情報です。

医療法人高田 高田内科クリニック



住 所

〒453-0046 名古屋市中村区道下町2-25

電話番号 052-482-1919

院 長 高田 統夫

診療科目 内科、小児科、循環器内科、消化器内科、糖尿病内科

専門分野 内科、小児科、循環器内科、消化器内科、糖尿病内科

休 診 日 木曜日午後・土曜日午後、日曜日・祝日

診療時間 9:00~11:30、16:30~19:00

当院は内科・小児科全般のほか、特に循環器疾患・糖尿病・高脂血症といった「メタボリックシンドローム」とその周辺の疾患の診療・予防に力を入れています。また、併設しておりますライブ健康クリニックではCTやエコーなど最新の医療設備を備え、人間ドックや一般健診・特定健診・がん検診を行い、病気の早期発見に努めています。専門的な治療だけでなく、風邪や腹痛といった一般的な疾患や、どの科を受診したらいいのかわからない場合、健康チェックを受けたい場合など、お気軽にご相談ください。

ホームページ



メディマップ
掲載ページ



上記は2023年9月1日時点の情報です。

当院は高次機能病院として専門的な医療を行っています。一方かかりつけ医は皆さんの日常の健康管理を行っています。それぞれが連携し、患者さんの状態に応じて診察を行います。皆さんもかかりつけ医をもち、日頃の健康について相談できるようにしましょう。ここでは当院と連携している診療所をご紹介します。

かかりつけ医

日ごろの健康管理
専門的な治療が
必要なら当院へ紹介

紹介

逆紹介

日本赤十字社愛知医療センター
名古屋第一病院

高度医療・専門医療
病状が安定したら再び
「かかりつけ医」へ

医療法人 村上医院



住 所

〒497-0016
あま市七宝町徳実郷53-2

電話番号 052-443-7771

院 長 村上 博

診療科目 内科、胃腸科、小児科

専門分野 内科、胃腸科、小児科

休 診 日 水曜日午後・土曜日午後、日曜日・祝日

診療時間 9:00～12:00、16:00～19:30

当院は内科、胃腸科、小児科の疾患を主に診療しています。また、インフルエンザなどの予防接種も対応可能です。地域の患者さんに寄り添った丁寧な診療に努めておりますので、風邪や腹痛といった一般的な疾患や、どの科を受診したらいいのかわからない場合など、お気軽にご相談ください。

メディマップ
掲載ページ



上記は2023年9月1日時点の情報です。

いくたこども クリニック

住 所

〒453-0811
名古屋市中村区太閤通5-25

電話番号 052-486-1010 院 長 生田 岳人

診療科目 小児科 専門分野 小児科

休 診 日 水曜日、土曜日午後、日曜日・祝日

診療時間 9:00～12:00、15:30～18:00



当院はお子さんのためのかかりつけ医として、小児科全般に対応いたします。特に、てんかんなどの小児神経疾患を専門にしています。お子さんは、ご自身の痛みを上手く表現することができないことが多いので、私どもは、お子さんをよく見て、よく聞いて、よく話すこと、さらにお母さん・お父さんとの対話を重視し診療を行っています。また、当院はWebによる問診・受付の対応も行っておりますので、不安なこと、心配なことなどあれば、どんな小さなことでもお気軽にご相談ください。

ホームページ



メディマップ
掲載ページ



上記は2023年9月1日時点の情報です。

フジノ内科

住 所

〒490-1222
あま市木田飛江ノ見70-1

電話番号 052-441-2713

院 長 藤野 均

診療科目 内科、小児科、皮膚科 専門分野 消化器内科

休 診 日 木曜日、土曜日午後、日曜日・祝日

診療時間 9:00～12:00、17:00～19:00



- ・地域のかかりつけ医として、成人・高齢者・小児の幅広い内科疾患群を診療範囲としております。また、個々の患者さんのニーズを考慮し、きめ細かな質の高い診療を心がけております。
 - ・高齢化社会を迎え健康寿命を保つ為に、健康診断、特定健診、がん検診、後期高齢者健診、また、乳幼児健診、各種予防接種など内科的な総合的サポートを行っております。
 - ・新型コロナウイルス感染症のパンデミックが始まった初期の段階から、駐車場を拡張し、簡易プレハブ3棟を設置、迅速核酸検査機器を複数台導入し、検査数を大幅に増やすなど、地域医療に貢献してきました。延べ1万5千件を超える検査を実施しております。
- 《*総合内科専門医(日本内科学会認定)、消化器内科専門医(日本消化器病学会認定)、肝臓専門医(日本肝臓学会認定)、日本医師会認定産業医)》

ホームページ



メディマップ
掲載ページ



上記は2023年9月1日時点の情報です。

医療法人日進会 名古屋矯正歯科 診療所

住 所

〒450-0003
名古屋市中村区名駅南2-14-19
住友生命名古屋ビル14階

電話番号 052-581-4718

院 長 佐奈 正敏 診療科目 矯正歯科

専門分野 矯正歯科 休 診 日 日曜日・祝日

診療時間 10:00～13:00、14:15～18:30(土曜日9:00～16:00)



当院は名古屋駅から徒歩10分の距離なので仕事や買い物の合間にも立ち寄れることもできる環境です。1977年開院以来、矯正専門の医院としてさまざまな症例に携わってまいりました。矯正治療経験のスタッフも多く、患者さん目線で、気持ちに寄り添ったコミュニケーションを大切に、明るく、優しい診療を心がけています。従来の矯正治療はもちろん、取り外しのできる装置や目立たない装置、リンガル(裏側)矯正などの矯正治療も行っております。矯正治療を通して皆さんの歯の健康と笑顔に貢献してまいります。

ホームページ



メディマップ
掲載ページ



上記は2023年9月1日時点の情報です。

外来診療担当医表

※担当医は都合により変更になる事がございますのでご了承ください。 2023年10月1日現在

診療科目		月	火	水	木	金	
内科	血液	後藤辰徳	西田徹也	西田徹也・PM宇野友梨	加賀谷裕介	森下喬允	
		加賀谷裕介	AM福岡翔	後藤辰徳	AM内藤知希	石際康平	
		PM石際康平	PM森下喬允	AM土門洋祐	PM中谷記衣	PM西田徹也	
		PM土門洋祐	PM久保篤史	PM久保篤史・内藤知希	—	PM福岡翔	
	内分泌	清田篤志	林祐里	尾崎信暁	土田真梨子	清田篤志	
		武田由季	吉田詢	—	今瀧柚衣	武田由季	
	腎臓	安田香	田口貴士	川副智宏	上田怜那	横江優貴	
		新患	(交代)	大河内建	福野貴仁	三澤尚史	第1・3・5週 小谷慧 / 第2・4週 二上和也
	脳神経	再診	渡邊はづき	小谷慧	後藤洋二	渡邊はづき	後藤洋二
		福野貴仁	二上和也	三澤尚史	大河内建	安藤孝志	
循環器	新患	近藤史朗	黒田真之	宮本駿	足立健太郎	荻野準己	
	再診	嶋野祐之	嶋野祐之	柴田義久	安田健一郎	柴田義久	
●第1.3.5金曜日(午後) 専門外来							
呼吸器	新患	横山 俊彦	竹山佳宏	小玉勇太 / 廣島正雄	稲垣雅康 / 都島悠佑	田中麻里 / 山田悠貴	
	再診	AM伊藤亮太 / PM田中麻里	AM廣島正雄 / PM松浦清彦	稲垣雅康	横山俊彦	小玉勇太	
消化器	再診	—	山田悠貴	PM都島悠佑	竹山佳宏	AM横山俊彦 / PM白髭彩	
	土居崎正雄	山口丈夫	鷺見肇	山口丈夫	春田純一		
	鷺見肇	堀田侑義	春田純一 / PM丸川高弘	AM野村真希 / PM田中悠	土居崎正雄		
総合診療	川瀬祐	—	三木大地	PM坂本旭美	—		
	宮川慶	—	宮川慶	PM榎葉誠	—		
小児科	午前	福見大地	濱麻人	大城誠	福見大地	竹内智哉	
		榎本さやか	西門優一	秋田直洋	北澤宏展	三井さやか	
		細川博紀	田中雅大	濱崎咲也子	上田真菜	立花貴史	
		片山美花	相川拓哉	—	—	竹田早織	
	アレルギー	—	—	牧野篤司	岩脇由希子	—	
小児科	循環器	三井さやか	—	—	福見大地	—	
	血液	—	濱麻人	PM土居崎正雄	吉田奈央	(交代)	
	神経	—	—	竹内智哉	田中雅大	(交代)	
	腎臓	—	渥美愛 / 多代篤史	—	—	—	
	新生児発達	浅田英之	中山淳	近藤真生	齊藤明子	大城誠	
	予防接種	杉山裕一郎	神原紀香	—	—	—	
	乳児健診	—	—	(交代)	—	(交代)	
	小児内分泌	—	—	西門優一	—	西門優一	
	アレルギー	牧野篤司	—	—	—	—	
	●予防接種・乳児健診は10日前までにご予約ください。詳しくは受付にお問い合わせください。						

診療科目		月	火	水	木	金
脳神経外科	服部健一	真宮崇	波多野寿	—	(交代)	太田佑資
	(交代)	—	—	(交代)	藤谷繁	
	—	—	大竹拓実	—	—	
皮膚科	吉川真人	石原麻衣子	吉川真人	石原麻衣子	吉川真人	
	石原麻衣子	磯部里香子	犬飼美紗子	犬飼美紗子	石原麻衣子	
	磯部里香子	近藤春菜	近藤春菜	磯部里香子	近藤春菜	
泌尿器科	小林幹典・加藤真史	平林裕樹	百田絢子	松山愛佳	平林裕樹	
	鈴木省治	松山愛佳	加藤真史	加藤隆	阿部宏紀・百田絢子	
腎移植外来	—	PM平林裕樹	—	—	—	
女性泌尿器科	—	—	—	鈴木省治(新患)	—	
	—	鈴木省治	PM加藤久美子	第1・3・5週	—	
●新患は(木)にご来院ください。						
産婦人科	新患	安藤智子	廣村勝彦	伊藤由美子	齋藤愛	水野公雄
	再診	長岡明日香	AM福原伸彦 / PM水野公雄	AM坂堂美央子 / PM黒柳雅文	AM廣村勝彦 / PM正橋佳樹	林紗由
	生殖内分・内視鏡	齋藤愛	安藤智子	—	安藤智子	齋藤愛
	化療外来	—	(交代)	(交代)	(交代)	—
	妊婦診	AM宗宮絢帆 / PM森永崇文	伊藤由美子	鈴木美帆	手塚敦子	告野絵里
	—	成田佑一郎	—	—	—	
	ハイリスク妊娠外来	AM津田弘之	—	—	—	AM津田弘之
	妊娠初診外来	PM津田弘之	—	—	—	PM手塚敦子
	バースセンター	—	宗宮絢帆	—	告野絵里	—
	助産師	助産師	助産師	助産師	助産師	助産師
眼科	佐藤英津子	—	佐藤英津子	(交代)	野坂光司	
	(交代)	—	(交代)	(交代)	(交代)	
耳鼻咽喉科	新患	寺田聡広	降旗敏照	柘植勇人 / 長谷川雅俊	小澤亮太	稲垣計
	再診	柘植勇人	寺田聡広	寺田聡広	柘植勇人	降旗敏照
リハビリテーション科	八木秀樹 / 大塚純子	洪淑貴	石川尚人	井上英則	山本英樹	
	山田哲也	山田哲也	山田哲也	山田哲也	山田哲也	
放射線科	岡田徹	岡田徹	岡田徹	岡田徹	岡田徹	
	●詳細は受付にお問い合わせください。					
歯科口腔外科	新患	大岩伊知郎	佐藤春樹	(交代)	大岩伊知郎	(交代)
	再診	佐藤春樹	大岩伊知郎	—	佐藤春樹	—
		長縄憲亮	長縄憲亮	—	佐藤春樹	—
上田整	早川泰平	—	早川泰平	—		
緩和ケア科	緩和ケア外来	水曜日 PM河合奈津子				

外来診療のご案内

- ◆初診 …………… 総合案内で『診療申込票』に必要事項をご記入の上、保険証・(初めて受診される方) 紹介状・各種医療証書を添えて、新患受付にお出ください。
- ◆診療受付時間 …… 午前8時20分～午前11時 (緊急および予約されている方はこの限りではありません)
- ◆休診日 …………… 土曜・日曜・祝日 年末年始(12月29日～1月3日) 日本赤十字社創立記念日(5月1日)
- ◆セカンドオピニオン …… 詳しくは相談支援センター1階、がん相談支援センターまで お問い合わせください。 電話052-485-3503(直通)

お問い合わせ先 **052-481-5111** (代表)



当院は、病院敷地内全面禁煙です。ご理解とご協力をお願いいたします。

休診情報はホームページでご覧いただけます。

<https://www.nagoya-1st.jrc.or.jp/>

TOP » 診療科部門 » 休診情報



日本赤十字社愛知医療センター 名古屋第一病院

日本赤十字社

〒453-8511 名古屋市中村区道下町3丁目35番地
TEL.052-481-5111(代表) FAX.052-482-7733
<https://www.nagoya-1st.jrc.or.jp/>

理念

皆さまとの出会いを一期のことと心得、その痛みを分かちあい、苦しみを共にしつつ、一日も早く健康の幸せを喜びあえるよう努めます。

基本方針

- 1 皆さまが安心できる癒しの森といたします。
- 2 高度・良質で安全な医療をいたします。
- 3 災害救護活動を積極的に行います。
- 4 周産期・小児及び救急医療を充実します。
- 5 医療連携を密にして地域完結型の医療を目指します。
- 6 職員の教育・研修を推進します。
- 7 健全経営を維持するよう努めます。

臨床研修の理念

医療に必要不可欠な知識や技術など基本的診療能力を習得するとともに、診療に際し患者及び医療スタッフと良好な関係を構築できる人格を涵養し、いかなる状況下でも人間の命と健康、尊厳を守る医師としての社会的役割を理解し実践できる。